

令和5年度ネットリサーチ「地方鉄道の利用状況」に関する調査結果報告書

■結果のポイント

- 最近1年間で、地方鉄道を利用した頻度については「週に5日以上」(6.0%)、「週に3～4日」(2.7%)、「週に1～2日」(4.1%)、「月に1～3日」(12.7%)、「年に6～11日」(17.0%)、「ほとんど使わない」(32.5%)、「まったく使わない」(25.0%)となっている。
- 利用する目的については、「レジャー・外食」が58.0%で最も高く、「通勤」が27.1%と続く。
- 利用しない理由については、「自動車やオートバイを使うほうが早く目的地に着くから」が(80.9%)で最も高く、「運転本数が少ないから」が(16.0%)と続く。
- 地方鉄道をより多く利用してもらうためには、「運賃の引き下げ」(39.7%)、「自宅または職場と最寄り駅を結ぶバスの充実」(20.0%)などとなっている。

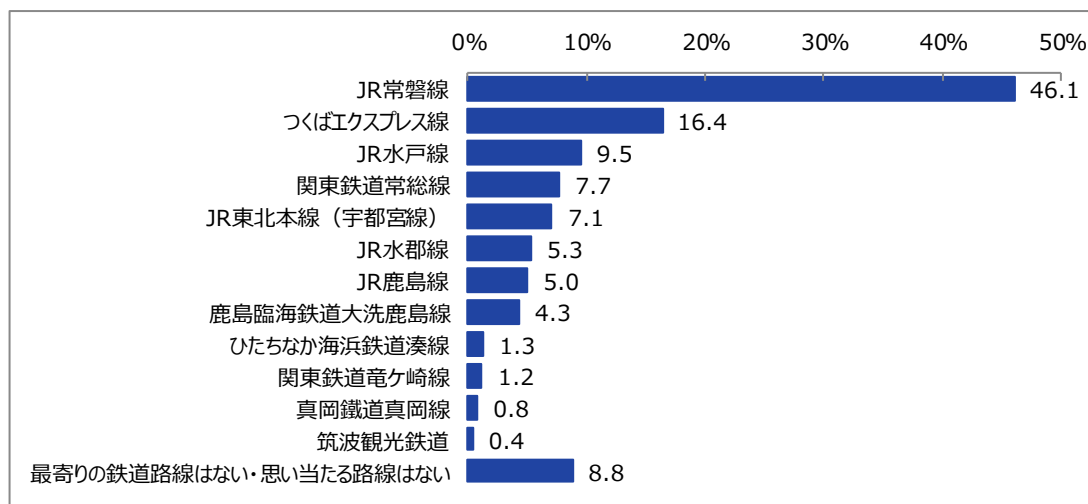
■調査結果の概要

1 自宅最寄りの鉄道路線

☆ 「常磐線」が46.1%で最も高く、「つくばエクスプレス線」が16.4%と続く。

Q2-1.あなたの自宅最寄りの鉄道路線を選択肢から選んでください。(日常的によくつかう路線ではなく、最短距離で最も近い鉄道路線を選択してください。複数選択可能。)

	%	n
全体	100.0	1000
JR常磐線	46.1	461
つくばエクスプレス線	16.4	164
JR水戸線	9.5	95
関東鉄道常総線	7.7	77
JR東北本線(宇都宮線)	7.1	71
JR水郡線	5.3	53
JR鹿島線	5.0	50
鹿島臨海鉄道大洗鹿島線	4.3	43
ひたちなか海浜鉄道湊線	1.3	13
関東鉄道竜ヶ崎線	1.2	12
真岡鐵道真岡線	0.8	8
筑波観光鉄道	0.4	4
最寄りの鉄道路線はない・思い当たる路線はない	8.8	88



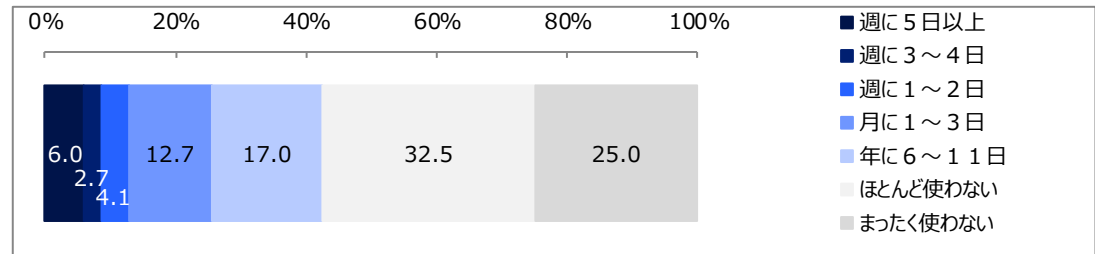
2 地方鉄道の利用頻度

- ◇ 「年に6～11日」が17.0%、続いて「月に1～3日」が12.7%、「週に5日以上」が6.0%と続く。
- ◇ 一方で「ほとんど使わない」が32.5%、「まったく使わない」は25.0%であった。

(前問で自宅最寄りの鉄道路線を選択された方へ)

Q2-2.あなたは、最近1年間で、どの程度地方鉄道を利用しましたか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

	%	n
全体	100.0	912
週に5日以上	6.0	55
週に3～4日	2.7	25
週に1～2日	4.1	37
月に1～3日	12.7	116
年に6～11日	17.0	155
ほとんど使わない	32.5	296
まったく使わない	25.0	228



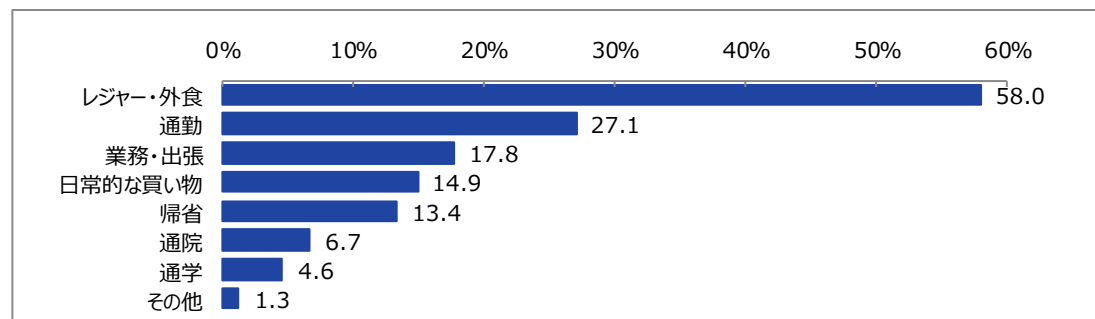
3 地方鉄道の利用目的

- ◇ 「レジャー・外食」が58.0%で最も高く、「通勤」が27.1%と続く。

(Q2-2で「週に5日以上」「週に3～4日」「週に1～2日」「月に1～3日」「年に6～11日」と回答された方へ)

Q2-3.あなたは、地方鉄道をどのような目的で使いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

	%	n
全体	100.0	388
レジャー・外食	58.0	225
通勤	27.1	105
業務・出張	17.8	69
日常的な買い物	14.9	58
帰省	13.4	52
通院	6.7	26
通学	4.6	18
その他	1.3	5



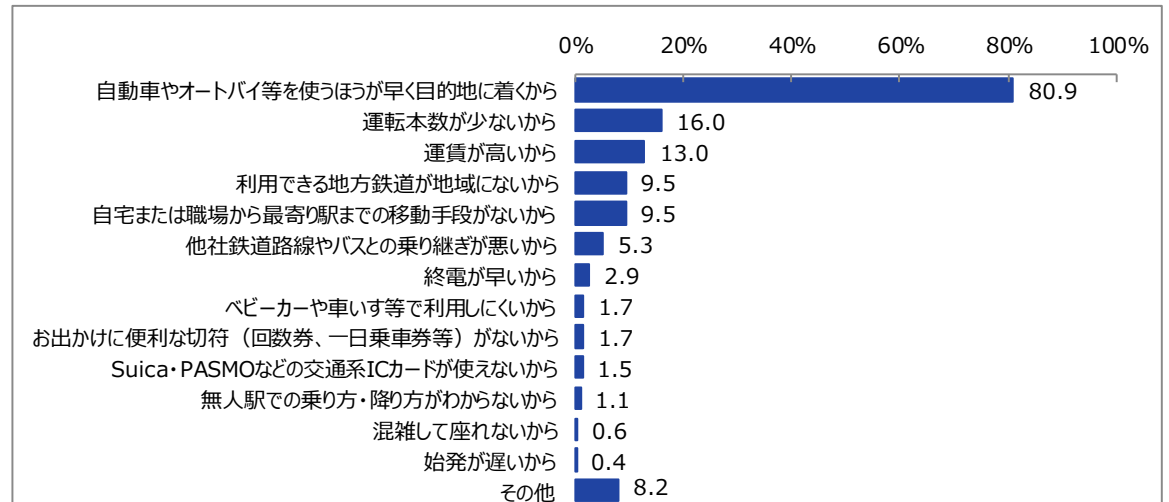
4 地方鉄道を利用しない理由

☆ 「自動車やオートバイ等を使うほうが早く目的地に着くから」が80.9%で最も高く、「運転本数が少ないから」が16.0%と続く。

(Q2-2で「ほとんど使わない」「まったく使わない」と回答された方へ)

Q2-4.あなたが地方鉄道を利用しない理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

	%	n
全体	100.0	524
自動車やオートバイ等を使うほうが早く目的地に着くから	80.9	424
運転本数が少ないから	16.0	84
運賃が高いから	13.0	68
利用できる地方鉄道が地域にないから	9.5	50
自宅または職場から最寄り駅までの移動手段がないから	9.5	50
他社鉄道路線やバスとの乗り継ぎが悪いから	5.3	28
終電が早いから	2.9	15
ペーパークーや車いす等で利用しにくいから	1.7	9
お出かけに便利な切符（回数券、一日乗車券等）がないから	1.7	9
Suica・PASMOなどの交通系ICカードが使えないから	1.5	8
無人駅での乗り方・降り方がわからないから	1.1	6
混雑して座れないから	0.6	3
始発が遅いから	0.4	2
その他	8.2	43

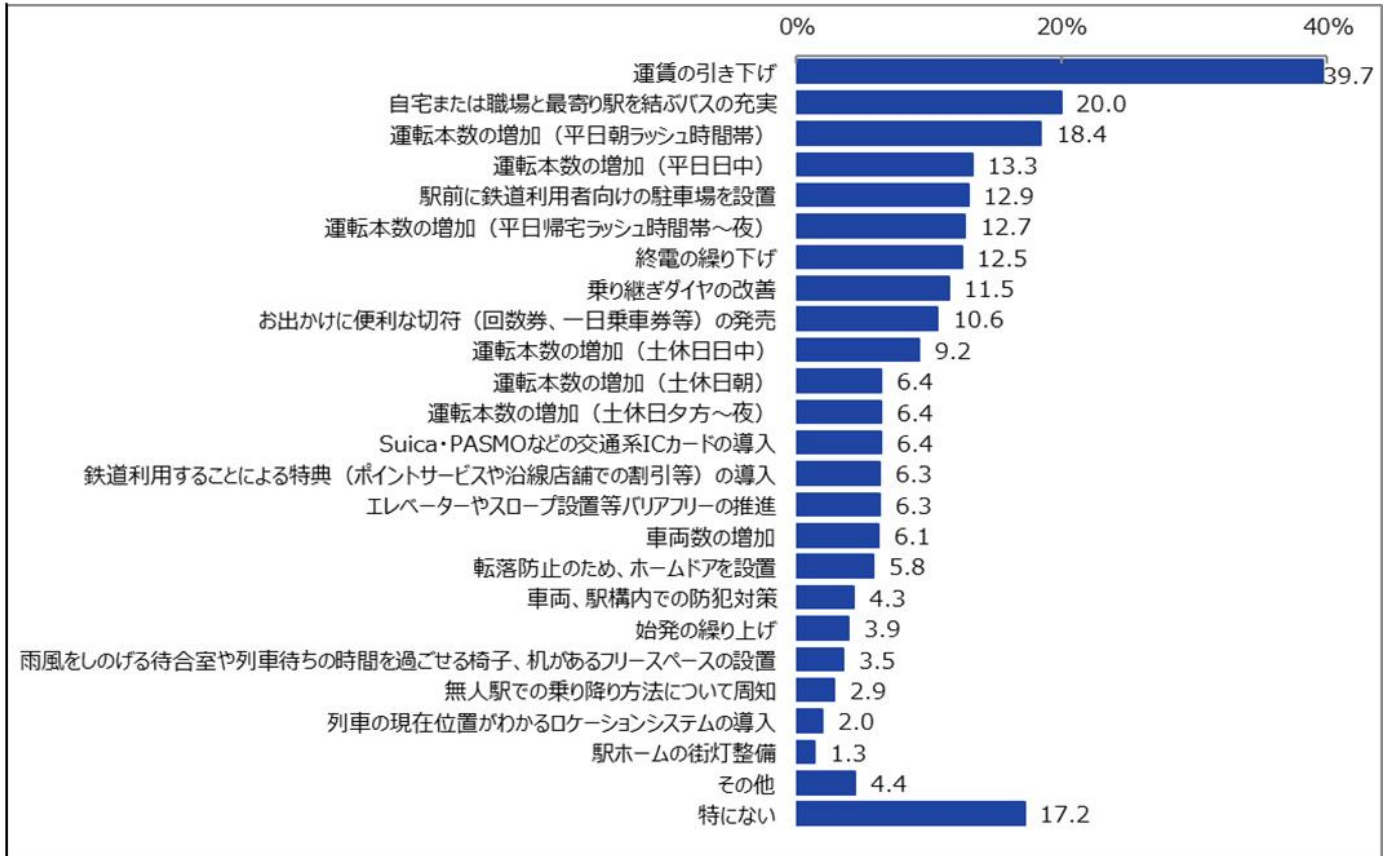


5 地方鉄道をより多く利用してもらうための改善方法

◇ 「運賃の引き下げ」が39.7%で最も高く、「自宅または職場と最寄り駅を結ぶバスの充実」が20.0%と続く。

Q2-5.茨城県内の地方鉄道をより多く利用していただくためには、どのような部分で改善が必要だと思いますか。次の中からあてはまるものを5つまで選んでください。

	%	n
全体	100.0	912
運賃の引き下げ	39.7	362
自宅または職場と最寄り駅を結ぶバスの充実	20.0	182
運転本数の増加（平日朝ラッシュ時間帯）	18.4	168
運転本数の増加（平日日中）	13.3	121
駅前に鉄道利用者向けの駐車場を設置	12.9	118
運転本数の増加（平日帰宅ラッシュ時間帯～夜）	12.7	116
終電の繰り下げ	12.5	114
乗り継ぎダイヤの改善	11.5	105
お出かけに便利な切符（回数券、一日乗車券等）の発売	10.6	97
運転本数の増加（土休日日中）	9.2	84
運転本数の増加（土休日朝）	6.4	58
運転本数の増加（土休日夕方～夜）	6.4	58
Suica・PASMOなどの交通系ICカードの導入	6.4	58
鉄道利用することによる特典（ポイントサービスや沿線店舗での割引等）の導入	6.3	57
エレベーターやスロープ設置等バリアフリーの推進	6.3	57
車両数の増加	6.1	56
転落防止のため、ホームドアを設置	5.8	53
車両、駅構内での防犯対策	4.3	39
始発の繰り上げ	3.9	36
雨風をしのげる待合室や列車待ちの時間を過ごせる椅子、机があるフリースペースの設置	3.5	32
無人駅での乗り降り方法について周知	2.9	26
列車の現在位置がわかるロケーションシステムの導入	2.0	18
駅ホームの街灯整備	1.3	12
その他	4.4	40
特にない	17.2	157



■調査の目的

県では、人口減少やモータリゼーションの進展、新型コロナウイルス感染症の影響により、経営状況が苦しい地方鉄道の維持・活性化策を検討するとともに、鉄道会社に対し必要な対応を要望するにあたり、県民の地方鉄道の利用状況や、地方鉄道に対するニーズなどを把握するための資料として活用する。

■実施概要

・実施期間：令和5年7月7日～7月14日

・サンプル数：茨城県常住人口調査（令和5年4月1日現在）に基づく性別・年代・居住地（5地域）の割合で割り付けた18歳以上の県民1,000サンプル

回答者数（人）

		県北	県央	鹿行	県南	県西	計
全体		114	245	94	359	188	1,000
性別	男性	59	125	50	185	99	518
	女性	55	120	44	174	89	482
年代別	18～29歳	18	41	16	68	33	176
	30歳代	17	42	16	62	30	167
	40歳代	23	55	21	83	41	223
	50歳代	28	57	21	79	42	227
	60歳代	28	50	20	67	42	207

県北：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、久慈郡

県央：水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、東茨城郡、那珂郡

鹿行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

県南：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡

県西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(注)

1. 「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。
2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。